

平成 29 年 4 月 28 日

各 位

日本ジェネリック製薬協会

「ジェネリック医薬品産業ビジョン」(概要)の公表について

○日本ジェネリック製薬協会 (GE 薬協) では、このほど

「ジェネリック医薬品産業ビジョン」

～日本の保健医療とグローバルヘルスを担う自覚と責任～

を作成しましたので、本日その「概要」を公表いたします (別添のとおり)。

○「経済財政運営と改革の基本方針 2015」においてジェネリック医薬品の数量シェア目標 80%以上が提示されました。

本ビジョンは、その目標が達成された後のわが国の社会において、ジェネリック医薬品や同産業の果たすべき役割についてまとめたもので、業界各社の指針となることを目指しています。

○本ビジョンは、GE 薬協の総務委員会 政策部会が作成にあたりました。

○公表スケジュールは、以下のとおりです。

・4月28日(金)14時

「ジェネリック医薬品産業ビジョン」(概要)の公表

・5月11日(木)16時

「ジェネリック医薬品産業ビジョン」の公表(本文編)

<照会先>

GE 薬協 総務委員会委員長

田中 俊幸 ☎03 3279 1890

「ジェネリック医薬品産業ビジョン」(概要)

～日本の保健医療とグローバルヘルスを担う自覚と責任～

期待される
産業像の実現

未来への挑戦

ジェネリックで拓く、
医療の未来

安心・信頼の追求

【将来の環境予測】

- 患者目線での医療がさらに進んでいる。
- 新薬の特許が切れれば、リーズナブルな価格のジェネリック医薬品の使用が一般的になる。
- 医療のICTインフラの構築が進んでいる。
- 医薬品産業のビジネスモデルが大きく変化し、ボーダーレス化が進展している。
- 少子高齢化の進展により、社会保障制度の見直しが急務となる。

【Vision 1】期待される産業像の実現

(海外展開、新たな流通体制への対応)

海外展開(米、欧、アジア、アフリカ)

- リージョナル戦略
- 医療パッケージング
(医療技術と供給体制)

新たな研究開発

- 新剤形(飲みやすさの工夫)
- 新投与経路
- 新効能追加

地域医療、情報提供、流通効率化

- 在宅医療、地域包括ケアシステム対応
- より広範な医科学情報の提供
- MRの役割の変化
- 卸売業と連携した新たな流通体制
(トレーサビリティの強化)

医療費貢献

- 社会保障制度の持続可能性を高める

バイオ後続品

- バイオ後続品への挑戦

【Vision 3】未来への挑戦

(不確実な未来(環境変化)への適応)

健康長寿への貢献

- 予防医学に貢献
- データヘルス計画との連携

グローバルヘルス

- グローバルヘルスへの挑戦

医療技術

- QOLを考えた医療技術の向上

【Vision 2】安心・信頼の追求

(安定供給、品質管理、安全性・情報発信)

安定供給の継続

- 新たな原薬承認審査システムの構築
- 効率的な「共同生産体制」の検討
(製造コストの低減)

効率的な生産を支える高度な品質管理

- 生産効率化を可能にする品質管理
- 品質管理分野の技術開発
- 規制ルールづくりでの積極的参画

情報発信とIT戦略の強化

- 安全性情報一元管理
(長期収載品含む)
- 添付文書の共有化
- オウンドメディアの活用

「意識改革」(コンプライアンス、ガバナンス、透明性、環境 等)